

P2 奥村市政のこか聞きたい P22 常任委員会報告 P26 お知らせ/審議案件と結果 P27 公職選挙法に関するお知らせ P28 視察報告/編集後記

20議員が登壇

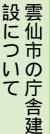
のか、

市長の所信をお伺いし

奥村市長 合併協定を基本的

状況をみながら決断をされる

設の予定なのか、厳しい財政



市長は合併特例債期限内に建 いますが、庁舎建設について に、条例第一号で定められて 置は愛野町乙五二六番地の一 石田議員 雲仙市の庁舎の位 石田議員 平成十七年十月十

財政状況の把握に努めますと 今後一年程度の期間をかけて 期的な財政計画を作成する為 ります。三位一体の改革に 新市の財政状況を見きわめる の積み立てがどの程度可能か よって本市が受ける影響等に ことが先決であると考えてお 本計画の策定と併せて、中長 ついて精査し、基本構想、 に尊重する所存であります。 庁舎建設の前提となる基金 基

共に、議会の皆様にご相談申

し上げ判断したい。

格差について職員の給料の

るということについては、私 でありながら給料に格差があ 確な答弁を求めます。 は理解できません、市長の明 私は認識を致しております。 務に努力をされておられると の皆様も雲仙市発展のため公 日に雲仙市が誕生し、職員 そういった中で、同じ職員

調整を行ってまいります。 安心して働けるように早急に る事となりますので、職員が じ年代で同じ勤務年数で、給 解できないとのご意見には、 員の給料に格差があるのは理 務意欲にも大きな問題が生じ 与格差がある事は、職員の勤 わせております。 同職場で同 課に命じ早急に調整作業を行 私も同意見であり、現在担当 奥村市長 議員のご指摘の職

事業について 七町からの継続

とくはる 田

德

定されているのかどうか答弁 の事業が、雲仙市に継続され を求めます。 協議会の中で優先順位等が決 ていると思いますが、七町の 石田議員 旧七町から、多く

りたいと考えております。 りながら事業を実施してまい 精査し、予算関係の調整を図 画の、七町の速やかな一体感 び優先順位等の決定はなされ 各課に置きまして再度事業を との策定方針を踏まえ、各部 発展と住民福祉の向上を図る を促進し新市全域の均等ある ておりませんが、新市建設計 奥村市長 事業内容の審査及

町の均衡を保ち各地域の発展 の事業の実施に当たっては旧 おります。 を図っていきたいと、考えて な事業は別と致しまして、そ いますので、雲仙市の政策的 合併により誕生した市でござ 松田土木部長 雲仙市は対等

瑞穂町駐在所の存続について

の中、県警の行政改革の一環 おかしくないような社会状況 のではないでしょうか、日本 四〇%に低下、広島、栃木、 弁を求めます。 駐在所が統合整理なのか、 とはいえ、なぜ、瑞穂町だけ 全国どこで事件が発生しても 記事等は皆さん記憶に新しい 京都での幼女殺人事件の新聞 は十年前は七〇%が現在では 石田議員 長崎県警の検挙率

信司令課、街頭犯罪総合対策 化している。その対策として 四〇%に低下、治安情勢が悪 倍増加。検挙率七○%台から 勢は十年前と比較して一・四 警察の説明では県下の犯罪情 を受理したところであります。 の駐在所存続を求める要請書 奥村市長 瑞穂町区長会から 増加する一一〇番通報に迅 かつ、的確に対応する通 組織犯罪対策課の新設な

警ら隊配置。 及びパトロールする、 番制で、二四時間常駐し警戒 も警部以下七名の警察官が輪 取り組み、国見交番において 県民の安全確保に精力的に 自動車

> ます。 制の強化を図ると聞いており 区悪犯罪の検挙のため夜間体

まいりたいと存じております。 取り除く為の最良の対策がな く受け止め地域住民の不安を 県に対しても存続を要望して とも安心して生活できるよう いものかを見極めながら今後 たる三、五一六人の要望を重 瑞穂町内人口の五九%にあ



皆から頼りにされている西郷駐在所

夜間の発生が七割を占める



町 田 康 則 議員

まちだ

やすのり

各旧町でのイベントについて

では、 地域の農業、漁業、商工業の 何度も聞きました。産業祭は できるのだろうかという声を ら来年の産業祭は地元で開催 れましたが、いろんな方々か YOUマラソン大会が開催さ 振興という政策評価からして 産業祭と雲仙小浜湯・ | 十二月四日小浜町

でも、 ます。 べきではないかと思っており 市長の考えは。

よる〟となっており、平成十 併年度については旧町の例に 市において調整する、但し合 ては、イベントについて〝新 奥村市長 合併協議会におい 七年度においては旧

要望などをお聞きす 活性化に寄与し、定 来年度からの産業祭 町単位で実施された。 るように計画してお 実行委員会等の意向 認識しておりますの 着した活動であると については、地域の で、各地域の産業祭

にぎわった産業祭 ります。

今後地元の実行委員 産業祭については、 会の意見、動向を見

各町ごとに実施される

がるのではないか。 を使い回したら、より盛り上 るのではなく、各旧町の施設 合、七ヶ町が連携でした方が 場については、一ヶ所で決め いいのかもしれませんが、会 町田議員 スポーツ大会の場

回るという事も一案としてい い考えではないかと思います。 会も含めまして、今検討中で ございます。 会場が各旧町を 鈴山教育長 市民総参加の大

今後の成人式についての考え なっておりますが、成人式は ついては、一月五日雲仙市と 各町ごとになっております。 して統一して実施することに 町田議員 消防の出初め式に がら検討していきたい。 精査し、財政状況を踏まえな ながら、十八年度中に内容を

どう考えておられるのか。 ツ大会については、教育長は バレーボー ル大会等のスポー 町田議員
ソフトボール大会

含め実行委員会制度を視野に るかと思っております。 せんので、いずれお示しでき 入れながら検討を進めており ます。 まだ結論を見ておりま 鈴山教育長 各体育指導員も

きたい。

気持ちはあるの 年度予算といい でしょうか。 会を開催される 市長は地区懇談 と話し合いを ぜひ地元の方々 な事に関しては、 よね。 いろいろ ますと三月です 町田議員 十八

は 辻教育次長 十八年度以降に

つきましては一ヶ所開催とい

う大体の方向性だけは出てい

ついてはどういう考えか。 町田議員 文化祭・体育祭に

て行きたい。十八年度予算に 全体的な行事としても検討し げがされておりますので市の 文化協会の連盟も大体立ち上 辻教育次長 雲仙市としての

な形で決めてい 反映できるよう

> 与していきたい。 意見交換をして市の運営に寄 奥村市長 当然、皆さん方と

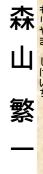
早くお願いいたします。 ないかと思いますので、 も、まず地元の方々との地区 民の方々も安心されるのでは 勢を示していただければ、市 懇談会をやっ て聞くという姿 のまちづくりという意味から 町田議員 市長の市民総参加



成人式(吾妻町)



森山 議員







国見町神代 貞松光義様ハウス

進について市の考えを。

活性化についての考えを。 森山議員 小浜雲仙温泉観光

したい。 発信し、 整える。 となり集客誘客の推進体制を 奥村市長 行政と民間が一体 集客力アップを目指 体験型観光の情報を

いるか、また、各町の情報交 育成と強化をどの様に考えて 七町で約七五〇名いる。その 換また研修等早急に。

業者連絡協議会を立ち上げた 及・推進を行い、新たな認定 るため認定農業者制度を普 を策定し、認定農家を確保す 強化の推進に関する基本構想 農業者の育成を図る。 認定農 奥村市長 雲仙市の農業基盤

森山議員 施設園芸農業の推

かし、生産者・農協・市が一 等を活用し施設園芸を推進し、 体となり、国・県の補助事業 産地の強化と推進をしたい。 奥村市長 雲仙市の特性を生

の考えを。 または地域の活性化について 三ヶ所目)。保存地区の観光 群保存地区に制定(長崎県で 十二日、国の重要伝統建造物 ている。

跡の内部の公開も実施する予 分の公開をしている。 やかた |教育長||鍋島邸は庭園部



国見町神代 鍋島邸と美しい緋寒桜

伝統的建造物群保存地区について

頂きたい。 いては国土交通大臣の承認を 地区の整備事業、計画につ

小公園等の有効活用を検討し 定。工場跡地も資料館整備と

開やイベントの企画、生きた 教育資源として活用。 鍋島邸を核として施設の公



町田

まこと

誠議員

公共施設の危機管理について

町田議員 最近、青少年によ町田議員 最近、青少年によ町田議員 最近、青少年によい対策は、

関村市長 七町の合併により の中には社会的弱者と言われ る方々が利用する施設も数多 くあると十分認識している。 市民の安全を守るため、庁舎 のみならず各所管課が管理す のみならず各所管課が管理す る施設を含め対策を講じる必 要があると考えています。総 要があると考えています。総 ののた機管理マニュアル作成を の危機管理マニュアル作成を

検討していきたいと思います。関との調整を図りながら十分訓練の実施についても関係機する職員への周知徹底を図り

断の状況は。 「田議員」市の施設の耐震診

いく。 事の段取りで計画を予定して その後実施設計をして補強工 査し耐震の診断計画を立て、 査し耐震の診断計画を立て、 でいく。耐震化の優先度を調 調査して順次耐震の向上をし は教育次長 今後十年計画で

策について子どもの安全対

事件を招く様な社会現状で、「田舎では」という安堵感がな事件が報道されております。て、大変痛ましい残酷で凶悪ねらった事件が頻繁に発生し町田議員 低学年の子どもを

安全マップ作成について。
「さいないか。子ども達の
の事は「受験対策より道徳教
を事は「受験対策より道徳教

☆山教育長
 通学路の安全点
 会山教育長
 通学路の安全点

る考えは。 ちこれからでも防犯上調査す 度あるか。調査されてないな やすい空き家が市内で何軒程 町田議員 犯罪の温床になり

で今後調査し検討を加えたい。 が十分実態をつかんでないの 鈴山教育長 空き家の件です

の環境問題

美しい地球を後の世代に譲る義務がある

町田議員 森林資源の破壊に町田議員 森林資源の破壊に町田議員 森林資源の破壊に町田 (本本) ない はいます。 雲仙市としてあらゆる問題があり、二酸化あらゆる問題があり、二酸化る。 森林の大がかりな伐採、る。 森林の大がかりな伐採、る。 森林の大がかりな伐採、る。 森林の大がかりな伐採、る。 森林の大がかりなりに譲る義務がある。 森林の大がかりなどをして後の世代に譲る義務がある。 本林の大がかりなりに譲るを持ちます。

ながら検討していきます。 び業者等を含めて連絡をとり 圏村市長 今後、関係機関及

スベスト問題

のアスベスト使用の実態は。町田議員 雲仙市の公共施設

います。

います。

います。

います。

のケ所のうち二九ヶ所はアス

がスト使用はない。あと一ヶ

がスト使用はない。あと一ヶ

がスト使用はない。 のとのことで現在調査して



森林の伐採

勝 議員

いわした まさる

岩下議員 雲仙市の基幹産業

農林水産業と、観光を含

基幹産業の振興策

異種産業同士の連携は

めたサービス業である。 経営を圧迫している。 企業の農業参入など、 大変厳しい。 農産物輸入増大 今、農業を取り巻く情勢も 農家の

状であるが、雲仙市発展のた め、農業と観光を連携させた 系の変化など、大変厳しい現 よる団体旅行の減少・旅行体 新しい街づくりが必要ではな 観光もしかり、経済不況に

産業振興に取り組みたい。 光産業と結びつけた、農林水 ム・ブルーツー リズム等の観 しながら、グリーンツーリズ 奥村市長 雲仙市が持つ産業 観光資源を最大限活用

集落営農体系確立の

岩下議員 | 今日、農業従事者 ために行政対応は

> 厳しい現状です。 域活力が低下する中で、地域 の高齢化後継者不足による地 **農業を維持するためには大変**

> > 活性化のためにも今後も推進

していきたい。

今後機械の共同利用、農作業 受託など、効率化を図るため しての対応は。 織づくりが必要と思うが市と に、集落営農組合という、組 **展業地帯を多く抱えている今、** 雲仙市においても、中山間

減少や、 高齢化、 奥村市長 国内の農業人口の 兼業化 耕作放棄地の増加、

は深刻な問題で

制度の中で推進 地域直接支払い いては、中山間 しているが、国 集落営農につ

の一部で取り組 吾妻町、 みが検討されて に至っていない。 が示す集落営農 瑞穂町

> 扱いについてはどうなるのか。 いた産業祭、イベントの取り |岩下議員| 旧町で開催されて

動向、 容を検討する必要がある。 域振興及び財政的見地から内 奥村市長 実行委員会の意見: 産業祭については、 組織体制も踏まえ、 地域の 地

は 事務事業の二割削減の具体策 岩下議員
| 行財政改革の中で、

務の効率化を図り、行政コス システムの構築と導入で、 トの低減化に努める。 |奥村市長|| 行政が行う事務事 民間への業務委託、電算



ぼく上手に跳べるよ

瑞穂町産業祭のようす

子育て支援策は

進体制の整備を図りたい。

いる。早急に雲仙市全体で推

は 三人目以降の保育料の無料化 の児童、三人以上の家庭の、 小学校六年生以下

であるが、全市で実施すると 雲仙市にとっても大きな課題 奥村市長 子育て支援事業は

> 児童数三五〇名で約六、三〇 国の動向等を見極めながら内 の拡充、子育て支援に対する ちなみに全体で実施すると、 容等検討していく必要がある。 合併協議会での試算では、

○万円の財源が必要である。 多額の財源が必要。児童手当 定です。



明

議員

パスについて 愛野~小浜バイ

の要望活動の経過は。 中村議員 愛野小浜バイパス

討するように言っている。 ス各ルートの決定を早期に検 されてなく、愛野小浜バイパ 行っているが現在まで具体化 員に対して年一回要望活動を 交通省、 パス建設でありますが、 長崎県議会及び県選出国会議 崎河川国道事務所、県知事、 松田土木部長 | 愛野小浜バイ 九州地方整備局、 国土

の計上を言っているところで で要望活動を展開して行く予 発展に重要な交通網となると る雲仙市においては、雲仙市 ございます。 ころから今後も継続的に全力 島原半島の玄関口に位置す 国に対しては必要な調査費

農漁業の振興は

定策考えは。 仙プランドの確立と価格の安 農漁業の振興と雲

安定に努めたい。 携を図りながらの農業経営の 場合に価格差を補償する制度 加入し一定の価格を下回った 県の野菜価格安定対策事業に を導入している。 国・県と連 奥村市長 各作物ごとに国・

数に花嫁対策の考えは。 中村議員 島原半島の人口増

いきたい。 の場を提供して企画を練って 奥村市長 男女の出会う交流

ついて 七町の交通網に

完成の見通しは。 町内における取りつけ道路の 津佐町伊場間の農道の南串山 中村議員 小浜町電串より加

きたい。 面広域農道の延伸の考えを聞 小浜町鬢串より千々石町方

態を解消し ていきたい。 交通混雑状 いくらか改良を加えながら、 奥村市長 しばらくは現道に

子どもの 安全対策は

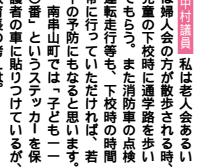
どうしているのか。 件であるが、教育長の対応は 中村議員 一連の児童関連

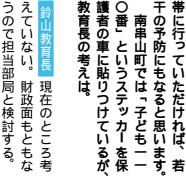
の防災無線で啓発放送を実施 ついて緊急通知した。 長あてに登下校の安全管理に で市内全幼稚園長、小中学校 鈴山教育長 十二月五日付け 各支所

子ども110番パトロール車

している。

児童の下校時に通学路を歩い ○番」というステッカーを保 運転走行等も、下校時の時間 てもらう。また消防車の点検 は婦人会の方が散歩される時 護者の車に貼りつけているが 干の予防にもなると思います。 帯に行っていただければ、 中村議員 私は老人会あるい 南串山町では「子ども一一 若







南串山町京泊広畑線

吉田 よしだ みわこ

雲仙市での保育、子育て問題は?

れていますか。 市での保育料無料化を考えら となっています。今後、 は、第三子の保育料は無料で ありましたが、合併後は有料 吉田議員 旧瑞穂町において

的にご説明ください。 まず取り組まれることを具体 思いますが、雲仙市において て支援がなされてきたことと 旧町単位で、それぞれ子育

えば、時間単位での子どもの 市で、その計画はいつ頃から いる地区がありますが、雲仙 よる働く母親の支援活動(例 時預かりなど) がなされて ボランティア・グループに

向を見極めながら、検討して はある。今後は国の予算の動 有効な施策の一つだとの認識 業及び少子高齢化対策として ていた事業は、子育て支援事 奥村市長 旧瑞穂町が実施し

> 定めていきたい。現在の事業 く方向性及び目標を総合的に ターの設置を研究したい。 いが、子育てサポートセン ティア活動での支援実施はな ズに対応できるようにしたい の見直しも含めて多様なニー 基づき、雲仙市で推進してい 次世代育成支援対策推進法に まだ、雲仙市ではボラン 子育て支援対策については

お父さんと一緒に



図書(読書)活動への取り組みは?

組みの様子は。 ださい。また、学校での取り の人々の熱心な活動が子ども 活動内容と予定を聞かせてく た。雲仙市においての今後の たちのためになされてきまし て読書活動が推進され、地域 コロねっこ運動」の一環とし 吉田議員 長崎県では、「コ

担う子ども達の心を豊かに育 度あり、読み聞かせ等の支援 組んでいる。 図書ボランティ 全校一斉読書活動の推進ある てると考えている。 という報告もある。雲仙市を 業を受けられるようになった も頂いている。子どもたちの アは、現在市内に一〇団体程 の中では、朝の十分間読書で、 集中力が増し、落ち着いて授 いは読書環境の充実等に取り |鈴山教育長||まず、学校教育

貸し出しは可能かどうか伺い 国見町の本を借りられますか。 ます。例えば南串山町の人が 吉田議員雲仙市内での図書

能であると思う。 進めている。今後は、 を組み込んでそういう作業も



なかよしグルー プによる 読み聞かせ

だきたい。 え、雲仙市でも財源策などを 世代育成の支援策として、激 が、超少子化時代に日本は突 ても根本は同じだと思います。 ばなりません。 図書活動にし ではもちろん、行政、 含めて本気で取り組んでいた 変した子育て環境の現状を捉 入したと言われています。 し合って支援していかなけれ るみで知恵を出し合い、工夫 古田議員 子育ては、家庭内 先日、報道されていました 、地域ぐ

えていることが伺えます。 い夫婦は多種多様の悩みを抱 いう現在、子育てについて若 産む子供の数が一・二九人と 雲仙市として、若い夫婦の 一人の女性が一生のうちに

文援を是非していってほしい。





岩 永 基 和 議員

合併特例債について

されるとの見方をする意見も 治学者の中には五年間に短縮 は十年間とされているが、政 合併特例債の活用

今後の見通しは

間に短縮されるということに ございます。 論や計画はないということで したところ、現在そういう議 通じて、県の関係部局に確認 つきましては、島原振興局を 奥村市長 合併特例債が五年

財政計画の中でその対策は。 石永議員 雲仙市においての

興基金事業を計画していると 後十年間で均等に発行する振 ころです。 奥村市長 合併特例債を合併

な事業に充当する計画か。 する事業について、どのよう 合併特例債を充当

問題について職員駐車場の 問題につい

えは無いのか。 用している現状の中で、市役 所周辺に駐車場を整備する考 足のため、体育館駐車場を利 職員の駐車場が不

りる。

されました新市建設計画を踏 奥村市長 合併協議会で策定

し、体育館駐車場を利用して | 奥村市長 | 四七台程度が不足

しながら検討してまいりたい は、これからしばらく協議を と思っております。 職員駐車場の整備について

順位、実施方針を確定してま 想、基本計画で、事業の優先 まえながら、雲仙市の基本構

いりたいと思います。

ております。 的着手に至ったものと認識し めとして、十三年度から本格 交通省との許認可協議をはじ となって、農林水産省、国土 防道路整備推進協議会が中心 市二十町で構成する諫早湾堤 奥村市長 当時の関係市町

ると考えております。 地域活性化のためにも寄与す て実施されており、雲仙市の の促進を目的に県の事業とし ルートの開発、 の輸送合理化、 良岳山ろく一帯との農産物等 南部取り付け道路につきま 堤防道路は、島原半島と多 地域間の交流 新たな観光

諫早湾堤防道路(吾妻町側)

諫早湾堤防道路取り付けについて

理解を頂いている状況にない

しては、すべての地権者にご

あったものの、測量の段階で を経て、一部議員の反対は 至っております。 地権者の猛烈な反対で現在に 町議会においても慎重な議論 からの懸案事項であり、吾妻 岩永議員 本件は吾妻町時代

と考えております。

と協議をさせていただきたい ので、事業主体である長崎県 のは指摘の通りでございます

えをお尋ねいたします。 るのであります。市長のお考 討して結論を出すべきと考え 民の安全が保てるか、よく検 交通の渋滞を招かず、かつ住 題としてとらえるのではなく 島原半島全体の問題として、 この道路は地元吾妻町の問

展と、基本的な問題として、 は将来を展望して雲仙市の発 重に対応をしてほしいと思い なく必定でありますので、慎 して、悔いを将来に残すこと 市長も市議会も慎重に検討を 岩永議員 この問題について





職員駐車場(旧吾妻庁舎跡)



増山良三

議員

ますやま りょうぞう

市役所本庁舎の件について

増山議員 本庁舎建設に関し

例債の適用はない」云々省略 ていないこともあって合併特 はそういったことは取り上げ りましたが「新市建設計画で の駐車場整備の質問が出てお がなされ今日の状態になって 少違う立場で質問します。 先程は岩永議員より吾妻庁舎 定する」となっております。 体的な検討スケジュー ルを策 尾に「新市において早期に具 れ、その結果、協定項目の末 おります。その間、七項目の 定後、二八〇日間かけて協議 例で決まっている「愛野町五 日に提案されてより、現在条 会では、平成十五年十月三十 定の中で、最も大きな基本協 務所の位置については合併協 ありましたが、私は彼とは多 具体的な調整内容等が検討さ 定項目であり、雲仙合併協議 ては昨日石田議員より質問が 一六番地一」が全会一致で認

どうか?

「はついて確認しますが、財政について確認しますが、財政に入っているのでが、具体的に既に検討スー年以内ということでありまければいけないと答弁され、ければいけないと答弁され、かな面を乗り越えて検討しないを面を乗り越えて検討しないで確認しますが、財政について確認しますが、財政について確認しますが、財政について確認しますが、財政について確認しますが、財政について確認しますが、財政に対している。

画がある中で、優先的なこと 考えております。種々建設計 まだ財政的なものを乗りこえ ついて「市役所本庁について いつごろ、どのくらいの規模 は十分に承知しておりますが で、それを含めてこの一年間 とでということでお答えし て一年間のスケジュー ルのあ 私が財政的なものを乗りこえ で着工するか等、 を通じて検討していきたいと てとまでは行っておりません た」ということでありますが、 | 奥村市長 | まず昨日の答弁に いろいろ検

討させて頂きたいと思います。

らないと理解しております。に過疎債の適用は対象にはな塩田企画財政部長 庁舎建設

ていくことを祈念します。 増山議員 この件は質問通告 出土 の の の の の の の の の の の の で 一 応、 立 ち 上 が っ た ば か り で 一 応、 了解するわけで あ り で 一 応、 う後 一 年 と も あ りま し た が 、 今後 一 年 と も あ りま し た が 、 今後 一 年 と も あ りま し た が 、 今後 一 年 と も あ りま し た が 市 長 の 所 信 表 明 前 と い う こ と



条例に定められている事務所予定地(愛野町)



もとむら やすかず

村 康 議員

職員給与の格差解消と人事につい

職員の給与は、

旧

当然の事です。早期に昇給基 今、公平・平等であることは な状況が続きます。市が誕生 勤勉手当や退職金・年金の算 り生活費です。これが期末・ ば、小浜町のように合併直前 級制を早く実施した町もあれ え方などで決まっており、八 は、各町の財政力や首長の考 の違いがあるようです。 給与 町の格付のままになっており ますが、考えをお伺いします。 し同じ雲仙市の職員となった 定基礎となる大切なものです。 すが、給与は労務の対価であ 格差が生じている訳でありま 違っており、こういう事から た、ワタリについても各町 に実施した町もあります。 大きいところでは四万円近く 格差が生じております。 その 準を作り調整すべきだと思い 格差解消が遅れる程、不公平 二点目の、合併に伴う人事 ま

そして小浜町はゼロとなって 的にそうなっております。 次 月一日付の異動内示を見て、 おりました。 千々石町一名、南串山町六名 国見町出身が三名、瑞穂町と 様に一五のポストを各町平等 した。部長級は旧各町二名ず 次長の人事についてどうして ら起きた事でありますが、九 の昇給基準、格付が違う事か 吾妻町各二名、愛野町五名、 長級は一九のポストがあるが に配分したのかどうか、結果 つ、国見町のみが三名という この様になったのかと思いま

ていると思いますか。 なっているが、部長級と比較 を次長に充てたという事に ポストに充て、残りの一九名 者三四名の内、一五名を部長 して次長級はバランスがとれ 合併前の旧七町の八級在職

らないと思いますけれども、 とって行うということにはな 昇格や昇給はバランスを

異動について。 この件も旧町

心事であります。 職員にとって人事は最大の関 これからは更に行政需要の

は明らかであります。 り市独自の責任で判断し、 営する行政分野が増大する事 多様化に加え、地方分権によ その為には、職員の資質向

む事にもなりかねません。 は意欲ある職員の意欲をそぎ、 年功序列的な昇給制度だけで 能力ある職員の能力の芽を摘 上が求められますけれども、

> えますが、人事は市長の任命 平な人事を実施すべきだと考 本的には昇格基準を作り、公 行為です。 考えをお伺いしま

調整をする必要があり、 判明しました。早急に給与の 作業を行わせております。 給与の格差が生じている事が が各町まちまちである事から ついては、昇格基準等の適用 奥村市長

給与の格差解消に 今後は、職員の能力・実績・ 格付を参考に決定されており、 ては、旧町の役職及び給与の 発令する事とします。 勤務態度等を勘案して役職を 合併に伴う人事異動につい

期の実施を期待します。 弁をいただきましたので、早 元村議員 実施するという答





雲仙市役所職員の勤務風景

小畑はよりとき 畑 吉 時 議員

県央県南クリーンセンター欠陥あり!?

場でゴミの搬入量に焼却量が |県央県南ゴミ焼却

追いつかず、ゴミが滞留し四

その後の状況は。 九〇〇トンの未処理が出たが

四八トンで順調に稼動し で、一日三〇〇トン設計 となっており日量平均に ミ処理能力は、三炉稼動 奥村市長 県央県南のゴ

助燃剤LNGガス又液化 酸素を使っているが、炉 の欠陥ではないのか。 で十分との説明であった。 小畑議員 当初二基の炉 議員に説明もなく、今、

動しており欠陥ではない 不適物混入により影響を 料で受けたゴミが二六〇 と報告を受けている。 及ぼした。 今は順調に稼 た。三炉運転したが溶融 ○トン有り大幅に上回っ 奥村市長 試運転時に無

-ンセンタ

のように考えているか。 見された。 市として保護はど 年ぶりかでオキチモズクが発 小畑議員 国見町土黒川で何

天然記念物オキチモズク発見

県松山のお吉泉付近で発見さ れた。土黒川のオキチモズクノ 昭和十五年世界で初めて愛媛 鈴山教育長 オキチモズクは

仙市としては絶滅危惧種で有 念物になっている。土黒川で 国見町の水路四ヶ所で毎年発 されていなかったが、平成十 は昭和五十九年を最後に確認 は昭和三十六年国指定天然記 も過去発生の事例が有り、雲 生が見られる。瑞穂・吾妻町 五年に一例発見された。また、

保護に努めたい。

題に取り組んでもらうことを れ濁っている。本当の環境問 り、景観だけではなく水は汚 中に環境問題もうたわれてお 市長及び教育長に要望する。 小畑議員市長の所信表明の

処理は埋めた焼却灰の富津運動公園に

のように対処したのか。 が富津運動公園に入っている と新聞で見た事が有るが、 小畑議員 旧小浜町の焼却灰

いだかせた事は誠に遺憾であ が、覆土まで掘削し焼却灰が 民への説明不足により不安を シン濃度が全国三位で有り住 は国の基準をクリヤーしてい 仮置き場として利用していた して利用している。 町民に不 たが当時排ガス中のダイオキ 露出した。 ダイオキシン濃度 安を生じさせた原因は土砂の |奥村市長||現在は運動公園と



オキチモズク(国見町土黒川)

ながら他の河川も含め確認や り、専門機関等の指導を受け おいしそうな学校給食

給食となっている訳 と南串山町は、弁当 されており、小浜町 のみ国見町から配食 七年九月から中学校

であります。



中 村

勲 議員

ついて 学校完全給食未設置地区の早期実現に

私のスローガンの

りました。行政の立場から見 として市民の皆様に訴えて参 の均衡ある発展を」をテーマ かした町づくりと、合併各町 つに「合併七町の特徴を生 一市内の住民が地域に

り扱うことが先決問題である 住民を上限に引上げ平等に取 **りまして、底辺にある地区や** 衡であってはいけない訳であ 題を先ず取り上げ一般質問を という考えから、学校給食問

和四十八年度から、 ら、吾妻愛野町が昭 が昭和五十六年度か は、国見町が平成十 実施されている地区 ときに、完全給食が 校給食の現状を見た ます。雲仙市内の学 干々石町は、平成十 二年度から、瑞穂町

よって格差があったり、不均

通告した次第であり 約一、一二四万円

のオープンを期待します。 設置地区の早期実現に向けて 収に努力するよう要望し、 ては、真面目に納入している 人と不公平にならないよう徴 中村議員 特に未収金につい

|小学校西側(船石地区| 建設予定地は、千々石第

一、土地の面積は、 約四、000㎡ 買収面積 有効面積

五、センター運営資金は、 四、センター職員の身分は、 九、給食費の未収金四町(国 八、土地の購入資金は、土地 二、建物の面積は、 見、瑞穂、吾妻、愛野)で 開発基金 三、〇四〇万円 は、平成十九年四月予定 九〇〇万円程度 学校給食会 〇〇㎡ 一部二階建て センター のオープン時期 給食数は、二、二〇〇食 約一、 ≒ 五



(仮称)建設予定地(千々石町) 南部学校給食センタ



堀

ふかほり よしあき

介護事業について

制度の見直し目前

れると言われていますが、ど ます。そこで介護保険料につ 期目を迎えている訳でござい 保険料も、十八年度より第三 を一期として改定される介護 聞いております。また、三年 から新しい事業と見直しで、 度の見直しにより、十八年度 付則において、施行後五年を は予測されているのか。 れくらいの改定を予定あるい いて、平成十八年度に改定さ 再スタートすることになると す。そして、今回行われる制 検討し、必要な見直し等の措 目途として制度全般に関して された介護保険制度は、法の 置を講ずるものとされていま 平成十二年に施行

して要支援及び要介護認定者 ております。その主な要因と 年度一〇億円程度の増加をみ るものですが、これまでの介 広域市町村圏組合で決定され 護保険給付は、島原半島で毎 奥村市長 介護保険料につい 保険者である島原地域

> ま す。 借り入れを行って運営を行っ の増加に伴う給付費と自然増 せする必要があり、認定者等 分をこれまでの保険料に上乗 定化基金からの借入金の償還 険料につきましては、財政安 ています。したがって次期保 運営する財政安定化基金から 足の補てん財源として、県が 大きな要因は、グループホー 市町村圏組合では、保険料不 ムの急増にあるものと思われ も加味する必要があること そのため島原地域広域



の増加もございますが、

ります。 れている者に扶養されていな と。そして、住民税が課税さ が生活保護基準以下であるこ の減免制度については、世帯 態にあることなどの条件があ もなお生活が困窮している状 ないことなどがあげられます。 いことや生計を一緒にしてい あること。また、世帯の収入 全員が住民税非課税の世帯で さらには資産等を活用して 介護保険

る方は、保険料の第一段階と この制度の減額を受けられ

れない見通しであると認識し ております。 相当な値上げは避けら

得者に対する減免制度の見直 しをすべきと考えるが。 上げになった場合、今の低所 深堀議員 大幅な保険料の値

域市町村圏組合と制度の見直 況も鑑みながら、島原地域広 し等について協議します。 奥村市長 今後、 市の財政状

詳しくご説明願います。 が大変苦しくなると考えられ 減収するため、高齢者の生活 より介護保険料が天引きにな る。独自の減免制度について ることから、手取りが大幅に 六十五歳以上の住民は、年金 |深堀議員||第一号被保険者の

いあるのか。 険料に与える影響はどれくら 年度より、

〇円程度上乗せされる計算に で単純に割れば、月額約三三 ことになり、今の被保険者数 保険料の中で返済をしていく 七二万円です。今後三年間の 額三ヶ年合計で、五億一、 中山健康福祉部長 平成十五 十七年度の見込み 0



奥村市長 平成十八年度から

第二段階の方であります。

後どれくらいの償還が必要な政安定化基金」について、今 のか。また、その借り入れ金 **県より借り入れを行った「財** の償還が、今後の改定での保 《堀議員 | 島原広域圏組合が

き続き検討します。

的に厳しいとのご答弁ですが、 ています。 是非継続を要望し 無くてはならない事業になっ で、栄養のバランス等、今や 作れない方々には、大変重要 この配食サービスは、食事を 制度の改正・財政

一配食サービスについて

ているが。 の例により実施されると聞い 併協議のおり、合併後も旧町 業』配食サービス事業は、 『食の自立支援事 合

把握や個人負担分の増額、 その場合残りの利用者分は市 等に縮小される可能性があり、 の観点から補助事業が実施さ なります。今後は、介護予防 違い市が補助を受けられなく 主体となるため、これまでと の財政状況を勘案しながら引 を受けておられる方々の実態 していくには、現在サービス て十八年度以降も事業を継続 の単独事業となります。従っ れるため、対象者が低栄養者 島原地域市町村圏組合が事業 の地域支援事業に組み込まれ は制度改正により、介護保険



さとう やすひろ 佐 藤 靖 弘 議員

能力と雲仙市の今後の取り組みは? 県央県南クリー ンセンターのごみ処理

今後の対策について。 と聞いているが、その原因と から処理能力を超過している 理施設であるが、既に初年度 〇〇トンを有する主要ごみ処 佐藤議員処理能力は一日三

運転で処理し、その後三炉運 ピット残量が予想を上回った かったため、引き渡し時の 転時の無料受入ごみの量が多 搬入されたこと、また、試運 度に策定されたごみ処理基本 などによる。 正処理に影響を及ぼしたこと 理ができなかったこと、さら 転にしたが、予定したごみ処 こと、次に、本稼動後、二炉 計画の日量予測を越すごみが 量の発生原因は、平成十一年 に溶融不適物の混入により適 奥村市長 開設当初のごみ残

環境組合から受けている。 いるとの報告を県央県南広域 現在は順調に処理稼動して

> 進にどう取り組まれるのか。 みの減量化とリサイクルの推 佐藤議員 雲仙市としてのご

推進に努めたいと思う。 ごみの減量化とリサイクルの ムの構築は自明の理であり、 てまいりたい。全市において 市としても、積極的に推進し | 奥村市長 | 循環型社会システ

考えはないのか。 佐藤議員 環境条例制定等の

う 加してもらえるか考えながら あれば皆様が納得し、また参 これから進めていきたいと思 奥村市長 どういった条例で

ついて。 環境問題の教育に

浸透させるため、色々な角度 鈴山教育長 環境教育を進化

> に取り組みをするよう積極的 に進めたい。 から検討を加え、また各学校

> > び金額は、県央県南環境組合

L

員等の設置の考えは。 佐藤議員 リサイクル推進委

ていきながら、その段階で考 えていきたい。 奥村市長 いろいろと話をし

液化酸素の使用が一日二〇〇 万円かどうか。 佐藤議員 助燃剤のLNG・

Ιţ

一日一炉当たり一〇〇ト

処理能力

リー一台~二台搬入しており てある。一日にタンクロー Gは当初より負担金に算入し 化酸素を使用している。 一台分が約五十万円弱である。 LNG(液化天然ガス)と液 吉田市民生活部長 助燃剤は LNGは三年間の委託契約 L N

> すると一年間に約二億七千三 NGは、一日平均一・五台と 事務局は把握していない。

百万円程度の数字になると聞

業者が独自に効率アップの為 企業努力で使用している。液 のガスの使用料の増減はない。 に含まれており、契約期間中 液化酸素については、委託

か。

トンのごみ処理能力があるの

佐藤議員本当に一日三〇〇

化酸素については、使用量及

であると解釈している。 ン、合計の三〇〇トンは可能



·視察·説明会 県央県南クリ -ンセンタ

置は ごみの検査員の設

名雇用している。 警察官の嘱託員を非常勤で三 吉田市民生活部長 現在、元

については。 佐藤議員 使用料金制度の件

が雲仙市の負担となっている。 内の四億七、 では総額十九億円あり、その 年度負担金・分担金は、 等割二割、 吉田市民生活部長 算出は均 人口割八割。 五一一万五千円 合計 十七

まえだ 前 田

哲 議員

さとし

学童生徒の安全確保について

仙市としてどのような具体的 の危険に遭遇したという事案 は何件報告されているか。 た」「声をかけられた」など いる。雲仙市管内において、 いう痛ましい事件が続発して 徒が連れ去られ殺害されると 対策を検討しているのか。 「不審車両に後をつけられ 重生徒の安全確保について雲 | 全国各地で児童生

くなって逃げた事案。三件目 地区で九月二十七日、十月十 グラスの男に家を尋ねられ怖 十一日、小一男子児童がサン 危険を感じて民家に逃げ込み 時に不審車両に後をつけられ 三、十四日女子中学生が下校 大事には至らなかった事案。 二件目は雲仙にて十一月二

国見

地においては、腕章、帽子、

いう意識が高まっていかなけ 域の子どもたちを見守ろうと がある。地域の大人たちが地

ればならないと考える。 住宅

全を脅かす事件の未然防止に 携を図りながら、子どもの安 犯啓発活動や学校、警察、 としては、防災無線による防 三件報告を受けている。 対策 険を感じ逃げた事案。 これら らせてほしいと言い寄られ危 月十一日に女子高校生が、カ は、同じく雲仙において十二 最善を尽くしていきたい 域住民、教育委員会などと連 メラを持った男に制服姿を撮

> が、一番遠方の子どもは必ず いようにしなければならない ベて一人でいる時に発生して いる。下校時に一人にならな 一人になり実状としては限界 **前田議員** 三件の報告は、 ジャンバーなど統一したもの

ようだが、雲仙市として統

学校単位で車両用ステッカー 供パトロール中」のステッ 中で巡視している状況、「子 活動をしているところもある を作成し下校時のパトロール 力につながると言われている。 走っている状況が犯罪の抑止 カーを貼った車がより多く を身に着けた住民が、地域の



PTAの取り組みとして.....



できないか。 した安全対策用の備品は作成

市として統一の安全対策用備品は作成できないか

予算も伴うことなので十分検 うと思う。統一備品作成には 討してその方向で研究してい に頼る部分も大きくなるだろ 全を守るためには地域の方々 鈴山教育長 子どもたちの安



文 議員

まつお

新庁舎建設に

年月がかかると思われる。早 終的に、条例を設定するに の設置は、長年旧町での合併 に吾妻に置く、となっている。 に、出来るまでの間、暫定的 新庁舎を建設する時は、愛野 至った。その内容についても 協議会の中で、審議され、最 急に、調査、建設委員会を設 建設するまでには、長年の 調査、建設委員会

どを、基本的な財源とするな %持ち寄りの一部を当てるな 町の基準財政規模の基金三五 合併特例債の利用、合併時旧 ら、十分建設可能と思うが。 財源的には、十年間の間に

新たな事務所の建設に資する 確認された。協定内容では、 新市の財政状況を勘案しつつ、 て、たび重なる議論を重ねて 奥村市長 合併協議会におい

> 内容を基本的に尊重したい。 するとされており、その協定 併特例債が、活用できる期間 ることを、新市の基本理念と 内に、新たな事務所を建設す 基金を積立てることとし、 合

の建設計画を検討していきた 響も十分調査した上で、今後 の分であり、改革における影 かったのが、三位一体の改革 なお一つだけ考慮されてな

当然、 まに検討させて頂きたい。 間との競争をしながらさまざ 限られた期間であり、十分時 とであります。十年間という 委員会の設置については、 設置していくというこ

重をするべきと思うが。

化は消防の一 県央消防、 一島元原

なったが、どうしても市の中 そのまま新市に引継ぐことに に二つの常備消防があるのは るとなっていた。調整つかず 松尾議員合併までに調整す

> の予定はいつごろになるか。 題はあろうと思うが、一元化 も、不都合な点が多い。 不自然であり、消防団として 将来半島が一つの市になる 諸問

での一元化なのか。 出て来るが、どのような形体 はないかと思うが、いずれに 総合的に考えても、理想的で ヶ町が、県央に入った方が、 とすれば、国見、瑞穂の旧二 可能性があるとすれば、 広域にとの考えもある。 しても、市の負担金の問題が 島原

ている。 として、共同処理するとなっ 関係市町と協議し、合併まで 事務を継続する必要はあるが ては、合併協議会において、 市発足時には当面旧町を単位 に調整すると確認され、雲仙 奥村市長 いつごろかについ

常備消防及び、救急組織とな 意検討を重ねている。 ることが理想であるので、 市としては、市域が一つの 鋭

り、これらも含めて関係市町 三通り考えられる。関係する と協議を行い、市民の安全・ 上、ほかにも事業を行ってお 市町が、八町と多岐にわたる 合に加入するか、また、新た に消防組合を設置する方向か、 に加入するか、島原広域圏組 形体については、県央組合

向性を見出したい。

安心の確保のためよりよい方

消防団に対する 十八年度予算は

めての予算となる。 おこなってきた。合併後、 は、各旧町での独自の活動を も同じ事ですが、団について 松尾議員 各種団体について 例えば、運営費一つとって 初

の配分をお願いしたい。 きれば、地域に合った、 もちろん、地域性もあり、 当りの格差が大きい訳である。 も各旧町での、年間団員一人 団員の確保と消防委員会の 予算



雲仙市出初め式 平成18年

で う考えである。

民、被雇用者、女性の皆様が 図っていく。地域防災体制を 保に努めたい。 きないか、研究し、 参加しやすい、環境作りがで 検討する必要があり、地域住 の皆様の参加への取り組みを 団側の制度改革、住民事業所 広げる事が重要であり、 防団へ参加する住民の範囲を 充実・強化していくため、 があれば、報酬の適正化を 市の財政状況を勘案し必要 団員の確 消防 消

は、今後も協議を重ねて行き 消防支援組織活動について

設置を。

どからして、団員の確保が困 する理解がうすれている、な 災害、訓練等にも出られない。 難になっている。 勤めが多くなり、昼間の火災、 **目営業者が少なくなり、会社** 会社、事業所の消防団に対 社会の変化等にともない、

しいものがある。 消防委員会 の設置をお願いしたいが。 合併後の消防団の運営も厳

の基準により、予算措置を行 奥村市長 今後統一した一定



福田大東議

ふくだ

開発によるその地域の食を楽

観光行政について

生しましたが、今後の課題は、 四・二%となっている。七町 光に対し行政はどのような支 な状況の中、低迷する本市観 ろでありましょう。 このよう が大きい。ちなみに、農業が ているのか? 援、政策をもって臨もうとし マッチングが求められるとこ スポー ツ産業の連携、ベスト が合併し、新しい雲仙市が誕 六・九%、サービス産業が二 展林水産業と観光産業、また **農業と観光産業によるところ** 一、一七〇億円であり、特に 福田議員 本市の総生産額は

どのすばらしい食材、豊かな塩辛、ジャガイモ、イチゴな産の雲仙こぶ高菜、エタリのかな水産資源、食材の世界遺町の城址、橘湾、有明海の豊田の城址、橘湾、有明海の豊田の城址、橘湾、有明海の豊田の城址、橘湾、自明田の神代画と、国見町の神代画と、国見町の神代画とがはいる。

料などを使った新たな食材の食の世界遺産に登録された材明海の橘湾でとれる魚介類、

される多種多様な農産物や有グの一つとして、管内で生産産業と観光産業とのマッチンらには、議員ご指摘の農林水

受け入れなどを行い、健康と ツのまち雲仙の名を広め、各 の支援などを通じて、スポー 崎を初めとする各種スポーツ 国見高校やV・ファー レン長 じめ、「がまだすネット」と ていきたい。 込み、交流人口の拡大を図っ スポー ツ都市雲仙の名を売り 種スポーツ大会の実施や合宿 組むとともに全国的に有名な 温泉を使った予防医学に取り 高い現代人のニー ズに合わせ ムによるグリーン・ツーリズ 提携した豊富な体験プログラ しみに来る観光客の誘客をは た最先端医科学的見地からの ムの提携、また健康に関心が

福田議員 三十五年前、長崎福田議員 三十五年前、長崎福田議員 三十五年前、長崎本のでいるのか?

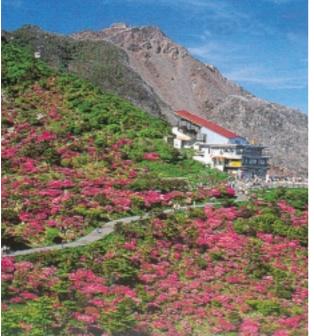
予定である。

の対応策は?堆積問題、今

今後

国見町沿岸の砂

国体夏季大会及び秋季大会の正式競技が三七競技、現行のち十一日間以内。競技数は、月中旬から十月中旬、このう催年と時期が平成二十六年九育大会、の概要について。開育大会、の概要について。開



の招聘、モニターツアーなどジオ、テレビ、旅行雑誌記者

の事業に対し、県や観光協会

係者とも十分に協議しながらとも連携を図り、地元観光関

支援を図ってまいります。 さ

雲仙ロープウェイ

福田議員 市内の山間部地域 一九 月上旬に、同年四月付で長崎 一芸の 現在に至っている。今後は事 一学保全基本計画に追加され、 一学保全基本計画に 一学保全基本 一学保全基本

時がある。対応策は?車両等もスムーズに通れない学路、生活道路が歩行困難で、では、積雪により市道及び通では、積雪により市道及び通

いても予算に計上している。所が対応する。これらに要す所が対応する。これらに要すいての対応策は、小浜総合支道、通学路及び生活道路につ道、通学路及び生活道路につ

実施競技になっている。競技

開催したいという計画で進め

会場地を県内各地に分散して

い、平成十八年度中に決定の七月ごろ予定、現地調査を行ている。会場地の希望調査が

の役割を発揮してもらいたい

べきでない

③少子化の克服は日本の経済

あれ、最低生活費から徴収す ②税金であれ、社会保険料で ①国民の生存権は本来最優先

る専門家がいます。

に保障すべきもの

民生活を守る防波堤」として 配があります。市長には「住

と思います。

祉や教育へシワ寄せされる心 が推進されれば、ますます福

上田議員「三位一体の改革」

市長は住民を守る防波堤の役割発揮を

て、次の三つが重要と指摘す

わる問題であり、その解決に 財政、社会保障の土台にかか

社会保障と財源問題につい



うえだ あつし 田

篤 議員

「住んでいて良かった」 市づくりをすすめる といえる雲仙

とても大事なことと思います。 いう二点が印象に残りました。 問します。 市政運営をどのように進めま に基づくガラス張りの市政と 参加のまちづくり②情報公開 市長の所信表明で①市民総

誇りを持ち、住んでいて良 の市政運営を行います。 に四年間全力で取り組みます。 かったといえる市にするため を聞きながら、市民総参加型 公聴の手段を使って市民の声 可能な限りの情報公開を行 移動市長室などあらゆる 市民がふるさとに

くのか」という点を中心に質 ういうまちづくりを進めてい しいスタートですので、「ど

上田議員 | 今回はすべてが新

欠の前提 本格的に取り組むことが不可 市長はどう考えますか。

想でありたいと思っています。 先すべきだろう、そういう理 奥村市長 私も生存権を最優

ことが、住民にとって不安以

奥村市長 駐在所がなくなる

「すべての子どもが健やかに生まれ つ環境づくり」が基本 育

案」と述べました。 私も同感 避するための最大の重要事 施策は、国家存亡の危機を回 「子どもを産み育てるための |上田議員 | 市長は所信表明で

えていますか。 と思います。 どんな対策を考 **人間の力で止められるものだ** 少子化は自然現象ではなく、

り」、二つめは「すべての親 やかに生まれ育つ環境づく つは、「すべての子どもが健 事です。 づくり」です。また、地域の が安心して子育てできる環境 コミュニティー の再構築も大 奥村市長 基本的な視点の一

のに改善し実施します。 会の各種事業を市にあったも に立ち返ることが大事です。 の完成をめざす」という基本 一である「子どもたちの人格 鈴山教育長 教育の目的の第 現状を把握し、県教育委員

> 白書」では、七割の女性が経 中山健康福祉部長 「 少子化 望まれる政策としては、「保

を図りたいと思います。 問題もありますが、福祉充実 化」などがあります。財政の 軽減」や「乳幼児医療の無料 育所とか幼稚園の費用負担の 済的な支援を求めています。

がよくわかりました。 期待し この問題を重視していること 上田議員市長と執行部が、

存続を県に要望瑞穂町の駐在所

先頭に立ってがんばってもら という請願がされています。 「町内の駐在所をなくすな」 **六〇%) もの署名を添えて、** ら、三、五一六名 (住民の約 上田議員 旧瑞穂町の住民か 市長はこの思いを受けとめ、

> 外の何ものでもないことは十 対して存続を要望していきま いをしっかり受けとめ、県に 分に認識しています。 その思 防本部になるこ
> 市域が一つの消

とが望ましい

せんか。 いようですが、支障はありま ますが、弊害はありませんか。 消防本部に管轄が分かれてい 上田議員 雲仙市では二つの また、消防署の定員が少な

る問題はありません。 配置については火急をようす て検討します。設備や職員の も協議しながら一元化に向け 広域圏や島原市、 が望ましいので、県央、島原 消防及び救急組織になること |奥村市長||市域が一つの常備 南島原市と



小浜消防署愛野分署



進 しんどう かずひろ 藤 議員

担い手育成の方向性は?

たが、今後全体的に人材育成 担い手の育成についてどのよう 成や補完、育成がなされてき **業形態があり、それぞれに助** に指導していく考えがあるか。 市内には様々な産

ている。 う人材の育成が重要だと考え 限らず、 の育成や地域づくり活動を担 奥村市長 産業面での支援に 次世代を担う青少年

を行う。 わせ、人材育成事業にも助成 源とした地域活性化事業とあ 雲仙市地域づくり基金を財

ダー 育成と人材の掘り起こし 目的とした視察・交流等の研 育成を目的とした調査研究事 修、産業面を含めた地域リー 特産品の開発、地場産業の 地域づくりや人材育成を

成は。 活力ある機関の醸

> 中です。 くが、 青年農業者連絡協議会は一月 者連絡協議会は一月十七日・ しながら十八年度の予算策定 ||十四日に発足し活動してい 酒井産業企画課長 認定農業 旧町の補助金を参考に

確保は。 や価格安定化事業作物の販路 圃場整備地の活用

業を有効活用し、豊富な産業 の推進を図り、価格安定化事 します。 資源、観光資源を含め「雲仙 ブランド」確立のために努力 酒井産業企画課長 集落営農

具現化への指示はされたか。 |進藤議員||雲仙市建設計画の

し、これを基本にやっていき 奥村市長 | 各課、各部に指示

どうなる、教育関係団体への助勢・指導

いく考えなのか。 どのように整合させ指導して ども会育成協議会については ②青少年健全育成協議会、 はどのようにされるのか。 市としての補助・助勢・指導 が発足するが、これに対する 解散し、雲仙市PTA連合会 進藤議員 | 郡PTA連合会が 子

整していく方針。 動内容を精査しながら毎年調 統一的な判断基準を設け、活 なるよう、他の団体と同様に 鈴山教育長 財政事情を考慮 効率的効果的な補助金と

きたい。 守る活動を全市的に広めてい が連携した子ども達の安全を 張大会の開催や、学校と地域 止事業等を継続し、少年の主 ②青少年健全育成協議会は、 旧町で取り組んできた非行防

も徐々に組織化を呼びかけ、 いなかったが、未組織の町に まで四町だけしか組織されて 十八年度も相応の予算計上を 子ども会育成協議会はこれ

保の要望に対しての手立ては。 助と、専従事務職・事務所確 進藤議員 雲仙市P連への補

> の補助額は五十万円に見合う しながら決めていきたい。 しながらできることなど勘案 の関係団体と機材なども共有 方向で計上し、事務所は、 鈴山教育長 | 十八年度市P連 他

動に対する認識および見解は。 進藤議員市長の、PTA活

に対して、 奥村市長 教育現場からの声 一番収集しやすい

り、民間のタクシー会社でも、 対処していただきたい。 教育委員会としても安全性の おられ、提言もあることから、 確保を優先に考えられ、 危険箇所の認識を高く持って に対し、有為的な団体でもあ 意識を高め、未然に防ぐ活動 進藤議員 子ども達の健全育 登下校の安全確保、



でもあり、

重く受けとめてい

きたい。

場におられる方々からの提言



田 安 議員

やすのぶ

考え方は 新市建設計画 の

のような考えで取り組むのか ある行財政改革に、市長はど 柴田議員 この合併の根幹で

退職者の三割補充等、 ながら練り直していきたい。 けて、様々な意見をお聞きし 位一体改革がなされる前の計 財政改革を推進していきたい 効率化軽減化を図りながら行 画であるため、今後一年位か 奥村市長 新市建設計画は三 また、事務事業の二割削減 事務の

臨むのか、 るが、今後どのような計画で 財政計画ができると期待され りしていけば、非常に賢明な 等を含めて財政運営をやりく **柴田議員 | 今後、合併特例債** 数字とあわせて伺

○億円で、普通交付税の合併 一般会計の歳出総額は約二八 塩田企画財政部長旧七町の

> 円になることが予想されます。 などにより、今後約Ⅰ六○億 算定替えによる補償額の減少

り組まないと今後の財政基盤 総額で約九三億円の削減に取 考えています。 としては非常に厳しくなると 毎年約三%の減額をして、

考え方は産業等の振興の

ということで、「食」、「遊」、 双方が元気のある産業になる 九億円となっている。 平成十四年度の産出額は卸・ 就業人口の約五〇%を占め、 れについての考え方は。 くろうというのが建設計画の 「快」の快適な生活環境をつ 小売業を含めれば、一、二三 である農業・観光・水産業け 根幹であったわけですが、こ これらをうまく融合させ、

サービス産業の中

ランド化して製品として耐え るさまざまな産品、名品をブ 食業、流通業を含めて複合化 られるような市場をつくって し、この地域で産出されてい に農業、水産業、観光業、

ている。 と、交流人口をどんどん増や な基幹産業に育て上げること いき、これらを雲仙市の大き が今後の大きな使命だと思っ し、人材育成もしていくこと

安全な水の供給と、 サイクルの考えは 下水道の汚泥のリ

ために供給してもらいたい。 質のいい水が今後いつまでど 向けて実施し、市民の安全の 調査や、資源の調査を将来に れ位潜在的にあるのか、水質 トンの水が供給されているが 柴田議員 現在、年間五七四

水量は、 水の供給に努めていきたい。 画的に行い、安全・安定した と、水道管の布設替え等を計 した施設や付属施設等の更新 保できている。今後、老朽化 現在需要量は十分確 雲仙市管内の

調査、資源調査は 今後計画していき

料を使用しない 費の節減と化学肥 用を図れば、処分 サイクルし、畜産 排せつ物の有効利 堆肥化するなどリ で年間約八六〇ト 下水道全部が完成 の汚泥は、現在 ンが出る。 これを 日約一・五トン、 し八〇%の加入率 柴田議員

水質調査、水量

供給につながると考えるが。 ては水道水の水質保全と安定 でき、その結果、地下水ひい 業の原点に戻った土づくりが

ていきたい。 図り、研究し協議し、 考慮した再生資源化施設も含 定ですが、同組合とも連携を おります。平成十九年完成予 め、施設の改修工事を行って 合で現在、汚泥等の堆肥化を います。南高北部環境衛生組 廃棄物処理場で焼却処分して より抜き取り、 は、現在は各地区の処理施設 松田土木部長 | 下水道の汚泥 川棚町の産業

ます。 間は平成十七年から二十一年 形成推進地域計画協議会が立 地域で昨年五月、循環型社会 して全量農地還元を行ってい る汚泥は、現在、乾燥汚泥と し尿等の処理の過程で発生す で、この地域から排出される ち上げられています。 計画期 吉田市民生活部 | 南高北部

られており、見守っていきた 推進を図るという計画が進め 化を行い、循環型社会形成の 付加価値を上げるために堆肥 今後も全量を農地還元し、



た九件について一月十三日、 審査したのでその概要を報告 総務常任委員会に付託され

害仙市振興基金条例(案)

があった。 四十億円を積み立てるが、 来的に取崩しができるような 条項を入れるべきだとの意見 平成十七年度から四年間で

れがあるとの答弁であった。 の許可が出ていない現状では 合併特例債の許可が出ない恐 原案どおり可決しました。 しかし、総務省から取崩し



千年の湯 瑞穂町

厅舎の警備が主な業務であり

経費について特段の配慮をし いことであり、防犯灯の維持

宿直業務の委託については、

等については支所の担当課よ の中で優先順位や予算の配分 旧町よりあがっているが、そ **昙仙市過疎地域自立促進** 過疎債に該当する事業が各

るという説明だった。 要望が り本庁に相談し、本庁が優先 見極め決定すべきとの意見が あったものは、現場をよく調 順位をつけることになってい 査した上で緊急性、必要性を

原案どおり可決しました。

平成十七年度 般会計予算

きである。強制的な措置を もう少し徴収率を高くするべ ○%をめざすべきであり、 百六万円二千円しか計上され 苦慮していると思うが、 滞納 とってもいいのではないか。 目標設定率が低すぎるので、 員のさらなる努力を要望する ていない。徴収率は当然一〇 分の徴収率を十七・六%、 税の滞納徴収ではたいへん 職

中学生にとって危険極まりな

い。児童の安全性については

いちばん考えなければならな

確約すべきではないか。 制限すべきではないか。 年齢を七十五歳ぐらいまでに 委託契約書に年齢を明記して

言われるような過疎の地区で ぜひ「自治会長」という名称 う声を多く聞く。呼び名は、 なった。自治会長からも自治 あり、千々石町境の道路は小 名称が行政協力員と変更に に変更してもらいたい。 会長という呼び名が良いとい 雲仙市になって自治会長の 小浜の木津は、陸の孤島と

どおり可決しました。 てもらいたい。 などの意見があったが原案

平成十七年度 別会計(案) と畜場特

ました。 異議なく原案どおり可決し





と畜場 国見町

特別会計(案) 平成十七年度 温泉浴場

総務常任委員会

ヵ所しかなく、使えないこと 浜の湯浴場のシャワー が

いたい。以上のような意見が び駐車料金の検討をしてもら がよくあるので全部にシャ ので、早急に駐車場の確保及 ワーを設置してほしい。 あったが、原案は可決された。 る民間の駐車場に停めている また、駐車場が狭く隣接す

決定しました。 般会計予算案 (所管分) につ された平成十七年度雲仙市一 いては原案を可決することに 教育厚生常任委員会に付託

て概要を報告します。 審議内容の主なことについ

給食センター を実地調査

意を表するものです。 地域で生産される物をできる でおいしい給食を提供できる 面等に細心の注意を払い安全 生徒の栄養、カロリーや衛生 とに努力されていることに敬 だけ給食の食材に使用するこ よう頑張っておられ、また、 皆さんが一体となって児童・ 食センター の現地調査を実施 しました。 各給食センターの 国見・瑞穂・吾妻・愛野給

は滞納額は無いが、千々石町 円あります。瑞穂センターに 食費の滞納繰越が約一千百万 討する必要がある。 れていることもあり、今後の れているにもかかわらず、給 職員の皆さんが懸命に努力さ ことについて関係者全体で検 に給食センター 建設が予定さ 今後も使用推進を求めます。

貸付けした奨学資金の滞納



国見町の給食センターにて試食

期に南串山町まで拡大できる 平成十八年度には千々石町ま 町と瑞穂町で実施されており よう努めてほしい。 で予定されているが、早い時

書する習慣が身につく等、良

活動等により学力の向上や読

活字離れの中、

読み聞かせ

活動が低下しないよう、公民 合併によって各町の公民館

教育厚生常任委員会

置を求める。

学校図書司書の各学校への配 い効果があると言われている

支援を求める。 館連絡協議会へ教育委員会の

Vファーレン

平成十七年度雲仙市国民健

の支援を求める。 しており、雲仙市として格段 県内や地元の選手が多く所属 のソファーレンチームには、 Jリー グを目指すサッカー

実施して、医療費の面で効果

ヘルスアップ事業を小浜町で した。 健康増進を図る目的で 成多数で可決することに決定 康保険特別会計予算案は、

祭り・イベント

する計画に期待する。

雲仙市全体でこの事業を実施 が表れており平成十八年度は

も地域の活性化や交流人口の し更に、強化を求める。 拡大等の観点から支援を継続 りや各種イベント等について 各町で開催される大会、 祭

指導すべきである

納税組合は解散しないように

税の口座振替制になっても

ることを求める。 り栄養士を配置して推進され う点から食育活動は大切であ ている。 性から食育基本法が制定され 健康と食生活の関係の重要 市民の健康増進とい

徴収に努めてほしい。

が四六件、

四二六万円程あり

移動図書館については国見

平成十七年度

ました。 原案を可決することに決定し 健特別会計予算案については 平成十七年度雲仙市老人保



市全体のアップを期するよう

高齢者の健康診断



す。 審査したので概要を報告しま た四件について一月十七日、 建設常任委員会に付託され

-成十七年度 般会計予算

度雲仙市一般会計予算(案)」 についての意見 議案第五三号「平成十七年

す る。 のエリアを決定する段階で考 ぐために、下水道事業の認可 中で、既存の合併浄化槽設置 慮しながら決定するよう要望 に係る補助との二重補助を防 後下水道事業を推進していく 下水道事業」と「農業集落排 化槽設置の申請受付は「公共 は旧七町で違いがあるが、浄 業については、その進捗状況 に受け付けるべきである。 水事業」の区域以外を優先的 合併浄化槽設置整備補助事 今

の整備を要望する。 七九路線)について、 市内のすべての市道(一八 路線図

説明であるが、単価が決定し

決定に半年ほどかかるという

土地購入についてその単価

て検討されたい。

ないと用地買収ができない。

継続事業、新規事業のどち

すべきである。 を詳細に調査したうえで要望 整備については、現地の状況 地元負担を伴う国・県道の

で行われていた補助対象とし 共事業については、

旧吾妻町 関係者が事業主体となる公

シルバー 人材の活用等も含め 観光課とも調整を図りながら、

す る。 処理について適 汚泥処理につい もらいたい。 今後検討をして 港について、コ いる国見町の漁 切な処理を要望 て、今後堆肥化 で発生している

のアク

するよう要望す 等後の後始末を ンクリート工事

案を可決した。 意見があり、原 以上のような

平成十七年度 業特別会計予算(案) 簡易水道

除去装置がいくつか示されて 当と協議し説明ができるよう 計予算(案)」についての意見 度雲仙市簡易水道事業特別会 去について、その除去方法、 にしてもらいたい。 過疎債等について、財政担 水質検査における亜硝酸除 議案第五六号「平成十七年

いては十分協議し早急にして らにおいても、単価決定につ

もらいたい。

市内の公園管理については、

いるが、 らいたい。 亜硝酸についての職員の知識 うな箇所が現にあるようだ。 等を調査し、 認識を高めるためにも先進地 国の基準を上回るよ 十分研究しても

浄化センター

るよう要望する。 課の連携を図りながら施行す れが大きく生じないよう担当 負費について、工事期間のず 以上のような意見があり、 下水道工事にからむ工事請

望する。

県が管理して

平成十七年度 業特別会計(案) 下水道車

予算書の中に、当分の間は 以上のような意見があり、 議案第五七号「平成十七年

平成十七年度 水道事業

度雲仙市水道事業会計予質 (案)」についての意見 議案第六一号「平成十七年

> 期に検討してもらいたい。 が可能であれば、今後早い時 旧七町の漏水対策では、 上水道、簡易水道の一本化

建設常任委員会

ಠ್ಠ ながら、早急な対応を要望す 業者に対して厳しい指導を要 由で大幅な遅滞がないよう、 るようだが、費用面も考慮し 設老朽化による漏水箇所があ 工期について、天候等の理

原案を可決した。 以上のような意見があり、

原案を可決した。

箇所は明記してほしい。 原案を可決した。 項目ごとに旧町名が該当する 予算 (案)」についての意見 度雲仙市下水道事業特別会計



◀雲仙浄化センタ

報告します。 産業経済常任委員会に付託

> りましたが、原案を妥当と認 則に明記すべきとの意見があ

5

経過措置の日時を施行規

め可決しました。

されました四件について一月 十八日、審査したので概要を 仙市土地改良

一徴収条例の制定

ては、 に新規採択されたものについ ちであり、平成十八年度まで 分担金の率が各旧町まちま 旧町の例によることか

瑞穂町 カ ーネ ーションハウス



養殖場 南串山町

観光振興基金をイベント事

していただきたい。

以上のよ

実績報告受理後、早急に支出

産業経済常任委員会

幅広く活用できるよう、要望 業に対して補助しているが、 所管すべきである。 市民の為の公園は、 観光目的の公園は観光課所管 したい。各種公園については、 各種の補助金については、 企画課が

妥当と認め可決しました。

うな意見もあったが、原案を

事が、小浜旅館組合にとって あった。休憩のみで運営する 赤字決算とならないよう職員 親切な対応をお願いしたい。 の接遇には、特に気を付けて も良策ではないか。お客様へ 休憩数で日本一になった事も している。 過去に国民宿舎の 減少しているが、休憩は増加 望洋荘については宿泊数は

> వ్త 原案を妥当と認め可決しまし 一丸となって努力すべきであ 等 意見もありましたが、

止を求める請願 アメリカ産牛肉の輸入

すべきと決定しました。 されて、全会一致で継続審議 ある。以上のような意見が出 係部会等とも協議する必要が る。また、JA島原雲仙の関 更に詳細に調査する必要があ 慮した上で採決すべきであり 生産者、消費者のことを考



溜水地区土地改良事業 南串山町

教育厚生常任委員会 委員 大久保信一 委員 酒井八洲仁

変わりました議会構成が (平成十八年一月十一日付) 総務常任委員会

(平成十八年一月十日就任) 大久保信一議員



新しい議員 (繰上げ当選)

第1回定例会で審議された案件と結果

	事件名	議決結果
条例議案 6 件	雲仙市名誉市民条例の制定について	原案撤回
	雲仙市伝統的建造物群保存地区における雲仙市税条例の特例を定める条例の制定について	原案可決
	雲仙市振興基金条例の制定について	原案可決
	雲仙市土地改良事業分担金徴収条例の制定について	原案可決
	雲仙市収入役の事務の兼掌に関する条例の制定について	原案可決
	雲仙市助役定数条例の制定について	原案可決
予算議案10件	平成17年度雲仙市一般会計予算(案)他9議案	原案可決
その他 5 件	長崎県広域競艇組合規約の変更について 他4件	原案可決
人事案件4件	監査委員の選任について他3件	原案可決
請願2件	雲仙市瑞穂町内駐在所の存読を求める請願	採 択
	アメリカ産牛肉の輸入禁止を求める請願	継続審査
意見書案 2 件	雲仙市瑞穂町内駐在所の存続を求める意見書	原案可決
	「真の地方分権改革の確実な実現」を求める意見書	原案可決
選挙1件	雲仙市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	原案可決



ご存知ですか?

法律で選挙区内の人に、 お金や物を贈ることは、禁止されています。 有権者が要求することもできません。

11月に選挙が行われましたが、「選挙法」についていくつかの質問がありましたので、基本的な考えを紹介します。もし、他にもありましたらお気軽に議会までお寄せください。



饉

賀

公職選挙法について市民へのPRはどのような方法でおこないますか?

市政だよりなどによる周知と町内会等の催しをされる各種 団体に文書でお知らせしたい。

運動会については、お弁当が準備されている場合があるので、行きにくくなります。

議員は寸志等を持っては行けませんので、教育委員会を通 じご協力のお願いを行っております。

年賀状等のあいさつ状禁止 (答礼のための自筆によるものを除く)には、電報も含まれていますが、弔電はどうなりますか?

弔電は禁止されていません。香典は、本人が持って行かな ければなりません。代理出席は、禁止されています。



落成式・開店祝の花輪

開店祝にのし袋に包まず、飲食代として持って行くことは できますか?

お祝いの意図が入っていれば、それは処罰されます。純粋 に飲食代として支払う部分は良いのですが、本人の意思が お祝いにあれば、処罰の対象になります。 〒859 1107 長崎県雲仙市吾妻町牛口名714

FAX0957 38 2755 HPアドレス http://www.city.unzen.nagasaki.jp/ Eメール info-unzen@city.unzen.nagasaki.jp

印刷所

㈱昭和堂 ☎0957

6000

PRINTED WITH

思われる。 市の議会報はさらに向上するものと を自らの糧にするかの如く、熱意を を深めながら充実した研修であった。 日間、大村市と西海市を視察、 応えるため、去る二月六、七日の二 対処し、出来上りも良好で、今後同 した。 編集委員全員が参加し、懇親 特に西海市議会では、我々の研修 編集に対しても委員が深く 研修

態で発行し、

市民及び議員の付託に

雲仙市の議会広報紙をより良い状

そそいでいきたい。 後雲仙市議会だよりの充実に全力を させていただいたことを参考に、 両市の議会広報編集について勉強 今



仙市議からの様々な質問に丁寧 鹿市の両議会の関係者の方々に まとまって新たな市となった山 城市と、 益城郡内の五町から誕生した宇 先輩の市である。 旧宇土郡・下 雲仙市議会議員三十名は議会事 に答えていただいた。 日に合併し、雲仙市より九か月 市議会を視察、 務局員二名と共に、 十日の二日間、 どちらも平成十七年一月十五 よりよい議会運営を学ぶべく 御多忙中にも拘わらず、 山鹿市と近隣の四町が 研修した。 熊本県の二つの 去る二月九

> あった。 らせることが大切ということで 調べるためにバランスシートを 宇城市では、まず財政状況を 市の台所事情を市民に知

子が伺えた。議会の公開は本庁 を願ってやまない 仙市議会の発展へつながること 的に実施されたとの話であった。 舎のロビー での中継放映を試験 たことに深く感謝し、今後の雲 くのことを勉強させていただい ことから委員会活動が盛んな様 両市から議会運営について多 山鹿市は、元来が市であっ 吉田

・山鹿市を訪ねて



ま す。

その後昭和九年三月国 祝ったそうであり 第一位に選ばれ県

民上げて、 岳の部で、 社共催の日本八景の選定で山 年、大阪毎日、東京日日新聞 岳とよばれていた頃の昭和三

が無数に自生し、

景観に色ど

幹回りニメートル以上の老松 海岸から山の中腹にかけて、 した。 その当時島原半島では 立公園第一号の指定を受けま

誇っておりました。

議会広報編集特別委員会

厚くお礼申し上げます

んでおります。

良

上原吉松佐森増 文

田田田 尾藤山

美和子 洋 文 昭

りをつけて、自然の豊かさを 御協力頂きました関係各位に えるべく、議員も懸命にはげ の郷土に対する熱い思いに応 終えましたが、市民の皆様方 今回初めての定例市議会を 発刊に当たり この「雲仙市議会だより」は、古紙配合率100%の再生紙と、揮発性有機化合物を一切含まないノンVOC植物性インキを使用しています。また、印刷はISO14001認証取得工場で行っています。

番新しい山で、

雲仙岳が温泉

表紙の平成新山は日本で